

講習の名称：【選択】デザイン思考に向けた図画工作における「工作」について

担当講師：齋江 貴志（教育学部教授）

講習開講日：令和2年8月24日（月）

時間数：6時間

主な受講対象者：図画工作科を指導する小学校教諭、および美術科を担当する中学校教諭

キーワード：小学校図画工作，工作，デザイン，美術科教育

講習の概要：

小学校図画工作科および中学校美術科で養成しているのは技能以上に、創造のための思考であると考えます。本講習では主に小学校の図画工作科の工作を中心に、実習を交えつつ、造形活動における創造的思考や今日注目を集めている「デザイン思考」について考察する。そしてまた、中学校美術科のデザイン分野との接続について考えていく。

講習の展開：

- 第1時限 工作で育成する思考について（講義）
- 第2時限 工作の題材演習1（実習と考察）
- 第3時限 工作の題材演習2（実習と考察）
- 第4時限 初等科の工作と中学校美術科のデザインについて（講義）

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

小学校図画工作あるいは中学校美術の指導経験があること（小学校教員免許のほかに中学校美術もしくは高校美術、工芸などの免許を取得していることが望ましい）

授業の形式：制作の実習及び講義

履修認定試験：

論述形式による筆記試験（ノートや配付資料の持ち込み可）。講習の内容をふまえ、受講者がどのような授業へとつなげるかを問うものとします。

テキスト・参考文献：

現行の「小学校学習指導要領解説・図画工作編」及び「中学校学習指導要領解説・美術編」を一読し、持参して下さい。テキストに相当するものは適宜プリント等を配布します。以下参考文献（うち1冊を事前購読することを望みます。）

- ・ティナ・シーリグ（高遠裕子（訳））『20歳のときを知っておきたかったこと スタンフォード大学集中講義』，CCCメディアハウス，2010
- ・ティム・ブラウン（千葉敏生（訳））『デザイン思考が世界を変える』，早川書房，2014